

# ケアメディア論

孤立化した時代を「つなぐ」志向

令和2年  
12月刊行  
予定

引地達也／著 四六判並製 250頁 ISBN978-4-910372-01-3 C0036 定価（本体2,000円＋税）

## だれもが情報発信できる時代の倫理とは？

自殺や災害報道、病名告知の現場で、情報をいかに伝えるべきか？  
ジャーナリズムと福祉の現場を経験した著者が、「伝えること」  
の歴史性を明らかにし、「ケア」という概念から、ソーシャルメディ  
ア時代における新たなつながりのかたちを提唱する。



### 本書より

ソーシャルメディアの浸透によりすべてが「つながる」「つながれる」時代において当事者とはすべての人、と認識することが必須である。そのすべての中に記者も市民も含まれるという積極的で自覚的な意思、そして「つなぐ」という強い意識が、「ケアメディア」の土台の一つとなるはずだ。

### 〈目次より抜粋〉

はじめに ー新型コロナウイルスで可視化されたケアー

第1章 広範なケアを必要とする社会背景

第2章 ケアとは何か

第3章 メディア・ジャーナリズムの視点からケアを考える

第4章 ケアメディアの条件

第5章 ケアメディアを支えるもの

### 著者

引地達也（ひきちたつや）

1971年、仙台市生まれ。上智大学大学院文学研究科新聞学博士後期課程修了。博士（新聞学）。

毎日新聞社記者を経てドイツ留学。帰国後は、経営情報誌の編集者を経て、共同通信社入社。外信部・韓国・延世大に社会留学しソウル特派員。退社後はメルボルンでオーストラリアの核問題を研究し、帰国後、大手金融機関の経営コンサルタント、外務省の公益法人理事兼事務局長など国際経験を生かした業務に従事。東日本大震災でのボランティア活動「小さな避難所と集落をまわるボランティア」をきっかけに、支援が必要な場所への活動を展開。2020年4月、シャローム大学から一般社団法人みんなの大学校を設立し「ウェブでつながる」を基本とした要支援者のための学びの場を展開。

現在、一般社団法人みんなの大学校代表理事、ケアメディア推進プロジェクト代表並びに季刊「ケアメディア」編集長、法定外見晴台学園大学客員教授など。

（キリトリ）

ご注文

FAX 099-219-9701

株式会社ラグーナ出版

sales@lagunapublishing.co.jp

〒892-0847鹿児島市西千石町3-26-3F TEL 099-219-9750

| 注文欄 | 貴店番線印             | 冊数 | 日付 | ご担当者 | 書名   |
|-----|-------------------|----|----|------|--|
|     | 流通センター<br>芳小版 取扱品 | 冊  | /  |      | <b>ケアメディア論</b><br>孤立化した時代を「つなぐ」志向<br>ISBN978-4-910372-01-3 C0036 ¥2000E 定価（本体2,000円＋税） |